

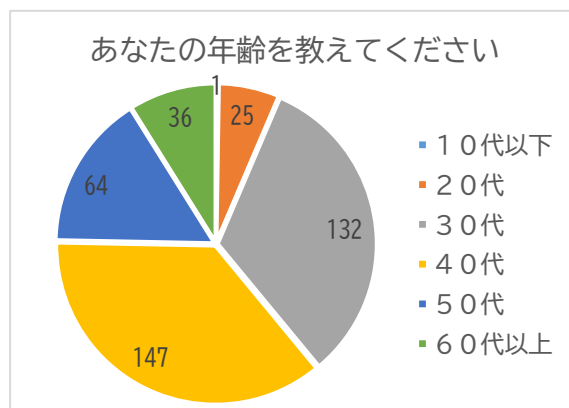
令和5年度 LINE を活用したアンケート 調査結果
「福島市子育てポータルサイトに対する意識調査」

テーマ	「福島市子育てポータルサイト」を知っていますか。
目的	本市では、令和4年3月に運用を開始した「福島市子育てポータルサイト」について、運用開始から1年が経過し、さらに充実していくため、市民の皆さまの意向をうかがったものです。

【調査期間】	令和5年7月13日(木)～7月27日(木)午前8時
【対象者数】	22,051名 (福島市公式 LINE 友だち登録者のうち、受信設定が市内かつアンケート同意者)
【回答者数】	405名
【回答率】	1.8%

問1 あなたの年齢を教えてください

10代以下	1 名	0.2%
20代	25 名	6.2%
30代	132 名	32.6%
40代	147 名	36.3%
50代	64 名	15.8%
60代以上	36 名	8.9%



<回答者数:405人>

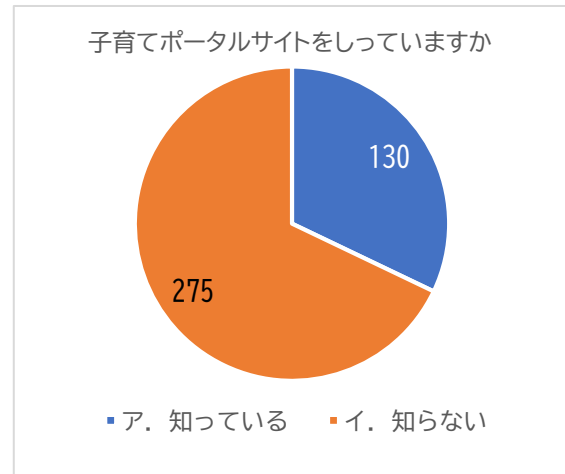
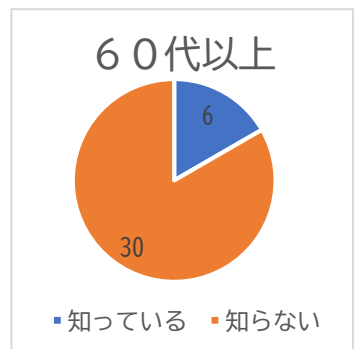
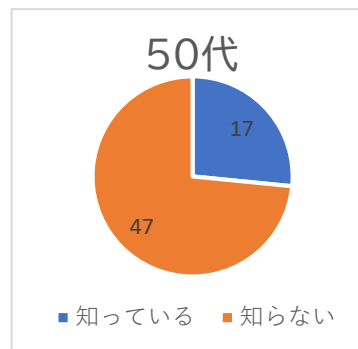
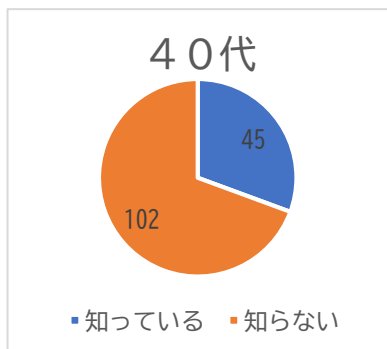
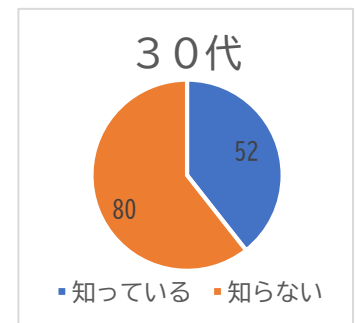
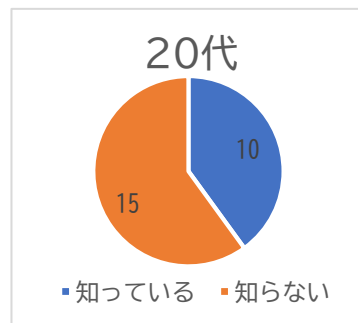
【こども政策課】
 30代から40代の子育て世代からの回答が多く、全体の約7割を占めている。

問 2

子育てポータルサイトを知っていますか。

ア. 知っている	130 名	32%
イ. 知らない	275 名	68%

<回答者数:405人>

**【年代別】****【こども政策課】**

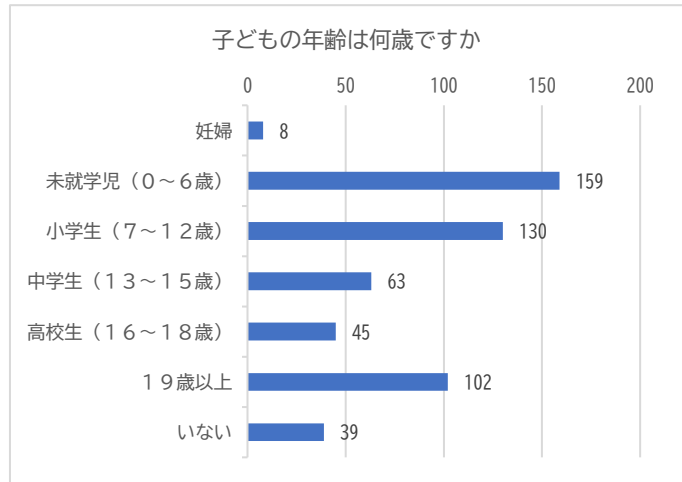
子育てポータルサイトの認知度は、32%と低い結果となった。

また、年代別に見ても、すべての年代において、知っている人は半数以下であり、今後も、様々な機会を捉えて、周知・啓発を実施していく。

問3

子どもの年齢は何歳ですか。(複数回答)

ア. 妊婦	8 名
イ. 未就学児(0～6歳)	159 名
ウ. 小学生(7～12歳)	130 名
エ. 中学生(13～15歳)	63 名
オ. 高校生(16～18歳)	45 名
カ. 19歳以上	102 名
キ. いない	39 名



<回答者数:405人>

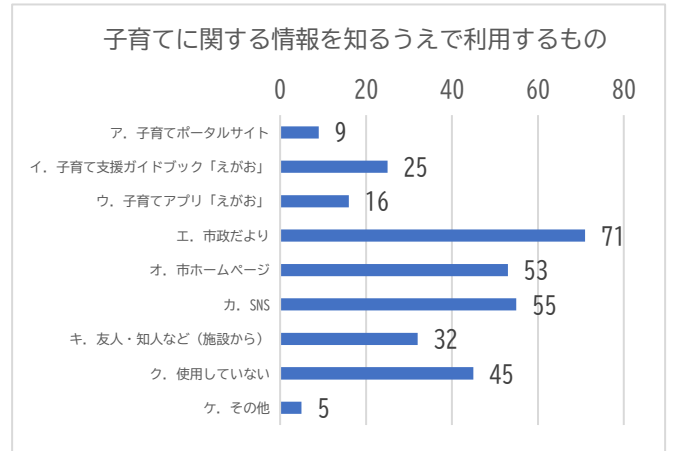
【こども政策課】

今回のアンケート回答者の9割以上が子どものいる方であった。
また、小学生以下の子どものいる方からの回答が、最も多い結果となった。

問4

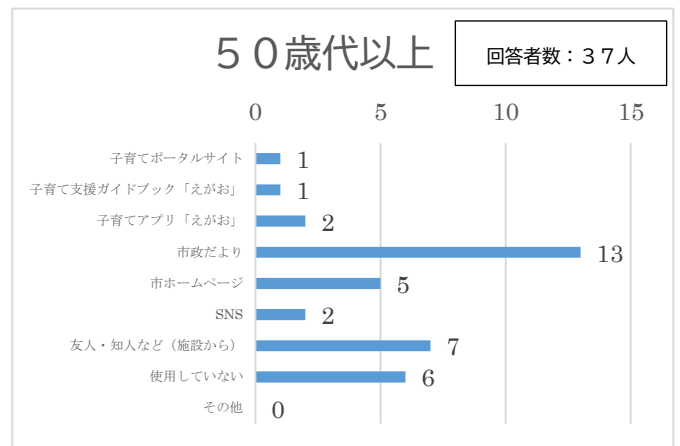
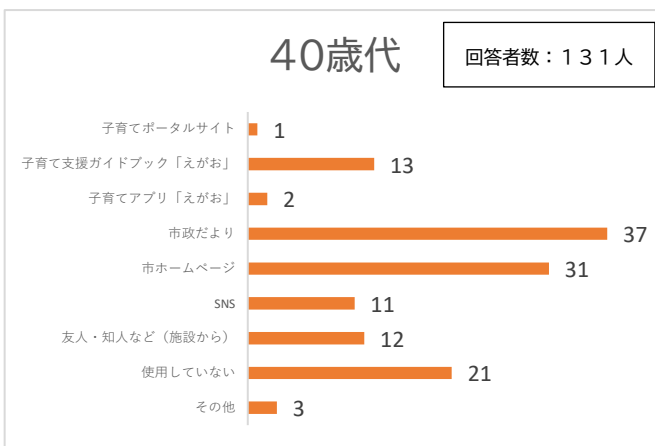
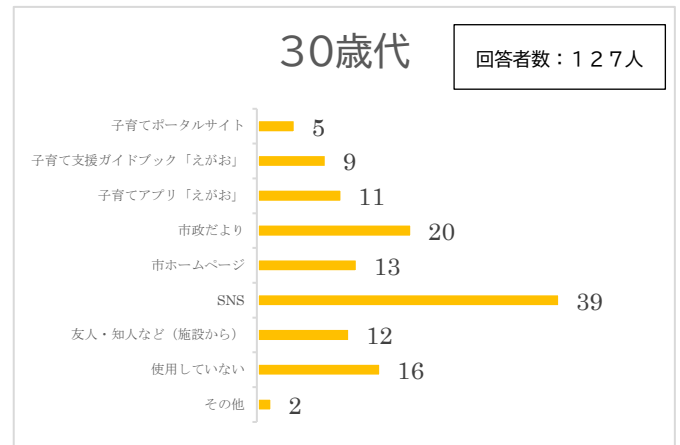
(問3で、高校生以下の子どもがいる方と回答した方)
子育てに関する情報を知るうえで利用しているものは何ですか。

ア. 子育てポータルサイト	9 名	2.9%
イ. 子育て支援ガイドブック「えがお」	25 名	8.0%
ウ. 子育てアプリ「えがお」	16 名	5.1%
エ. 市政だより	71 名	22.8%
オ. 市ホームページ	53 名	17.0%
カ. SNS	55 名	17.7%
キ. 友人・知人など(施設から)	32 名	10.3%
ク. 使用していない	45 名	14.5%
ケ. その他	5 名	1.6%



<回答者数:311人>

【年代別】



【こども政策課】

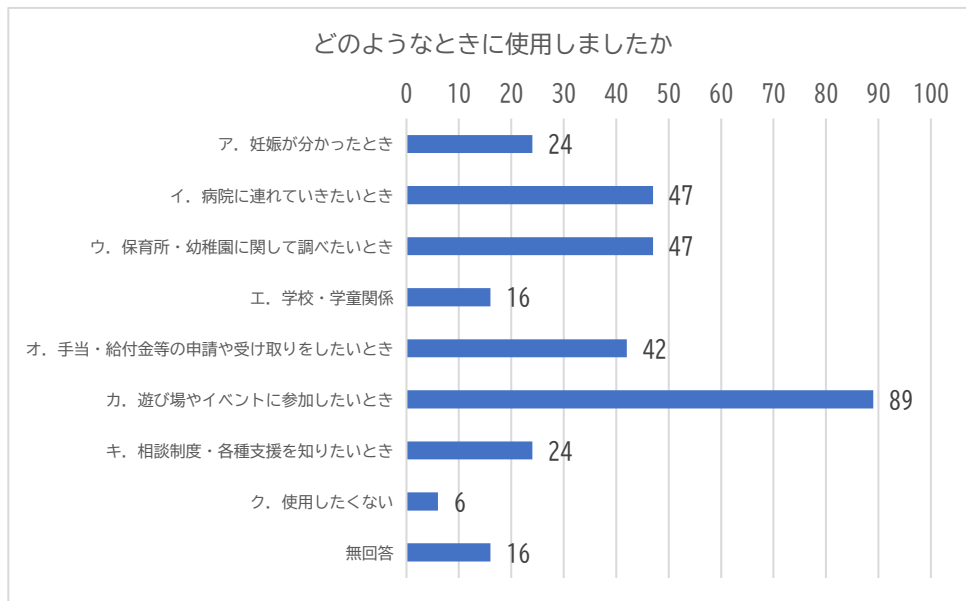
子育てに関する情報について最も多かったのは、「市政だより」となった。
また、年代別にみると30代は「SNS」での情報入手が多い結果となり、子育てポータルサイトからの情報入手している方は、どの年代も低い結果となった。

問5

(問3で、高校生以下の子どもがいる方と回答した方)
問4で選択したものは、どのようなときに使用しましたか。

ア. 妊娠が分かったとき	24 名	7.7%
イ. 病院に連れていきたいとき	47 名	15.1%
ウ. 保育所・幼稚園に関して調べたいとき	47 名	15.1%
エ. 学校・学童関係	16 名	5.1%
オ. 手当・給付金等の申請や受け取りをしたいとき	42 名	13.5%
カ. 遊び場やイベントに参加したいとき	89 名	28.6%
キ. 相談制度・各種支援を知りたいとき	24 名	7.7%
ク. 使用したくない	6 名	1.9%
無回答	16 名	5.1%

<回答者数:311人>



【こども政策課】

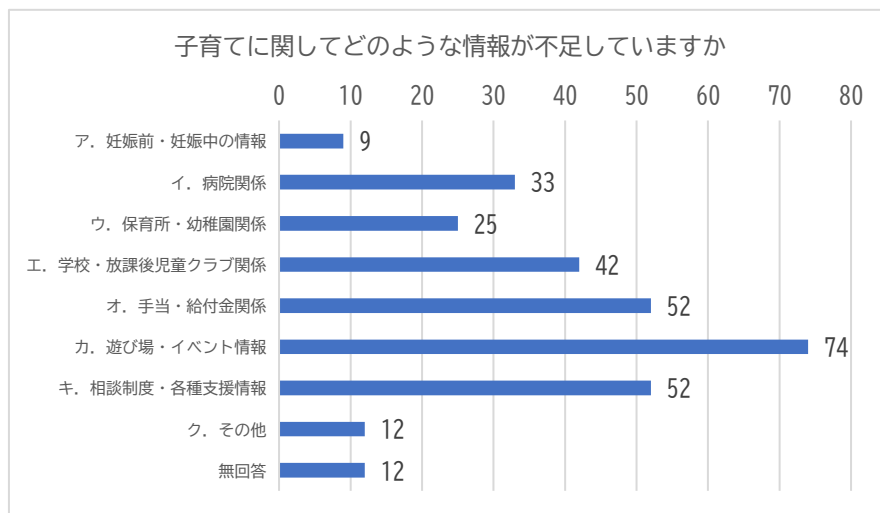
最も多かった回答は「遊び場やイベント情報」を知りたいときであることが分かった。
今後は、イベント情報や遊び場の情報発信方法などを検討していきたい。

問6

(問3で、高校生以下の子どもがいる方と回答した方)
子育てに関して、どのような情報が不足していますか。

ア. 妊娠前・妊娠中の情報	9 名	2.9%
イ. 病院関係	33 名	10.6%
ウ. 保育所・幼稚園関係	25 名	8.0%
エ. 学校・放課後児童クラブ関係	42 名	13.5%
オ. 手当・給付金関係	52 名	16.7%
カ. 遊び場・イベント情報	74 名	23.8%
キ. 相談制度・各種支援情報	52 名	16.7%
ク. その他	12 名	3.9%
無回答	12 名	3.9%

<回答者数:311人>



【こども政策課】

問5でもっとも必要としていた「遊び場やイベント情報」が、子育てポータルサイトでは最も不足しているとの回答結果となった。

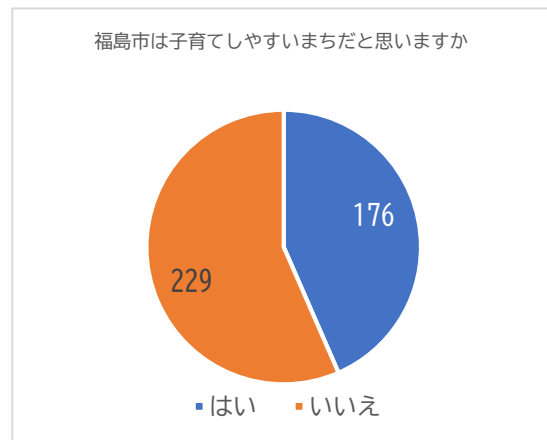
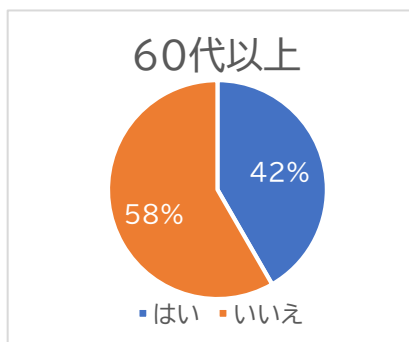
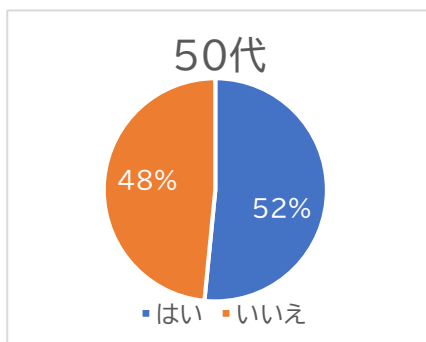
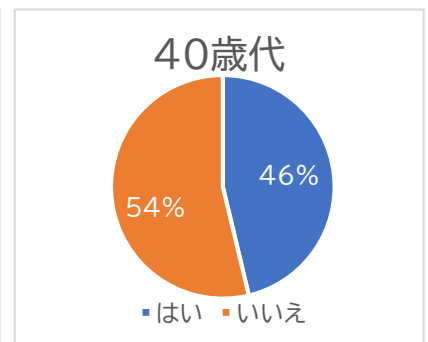
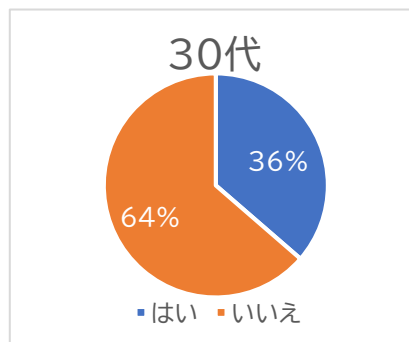
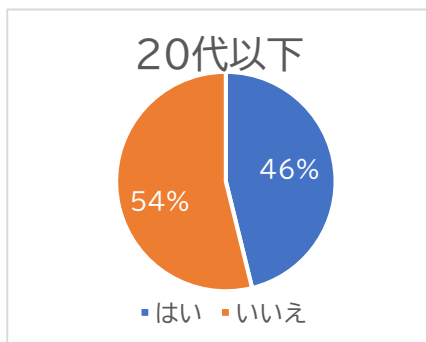
子育てポータルサイト内にも掲載はしているが、掲載する場所なども含めて、検討していきたい。

問7

福島市は子育てしやすいまちだと思いますか。

はい	176 名	43.5%
いいえ	229 名	56.5%

<回答者数:405人>

**【年代別】****【こども政策課】**

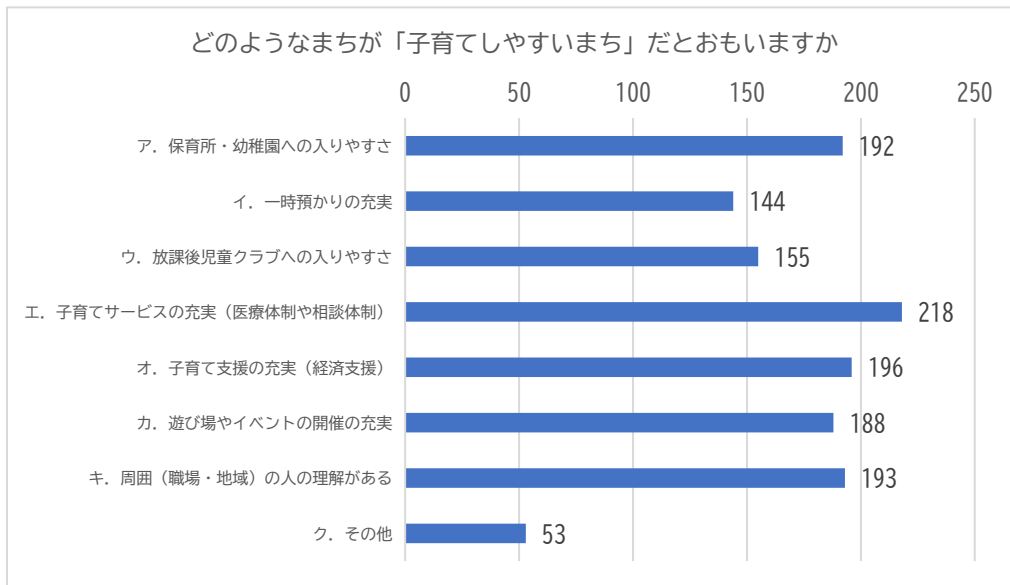
子育てしやすいまちだと感じている人は、43.5%であった。
年代別に見ると、30代が最も低く36%であった。一方、50代は52%と最も高い数字となった。

問8

どのようなまちが「子育てしやすいまち」だと思いますか。(複数回答)

ア. 保育所・幼稚園への入りやすさ	192 名	14.3%
イ. 一時預かりの充実	144 名	10.8%
ウ. 放課後児童クラブへの入りやすさ	155 名	11.6%
エ. 子育てサービスの充実（医療体制や相談体制）	218 名	16.3%
オ. 子育て支援の充実（経済支援）	196 名	14.6%
カ. 遊び場やイベントの開催の充実	188 名	14.0%
キ. 周囲（職場・地域）の人の理解がある	193 名	14.4%
ク. その他	53 名	4.0%

<回答者数:405人>



【こども政策課】

最も多かった回答は、「子育てサービスの充実」であった。

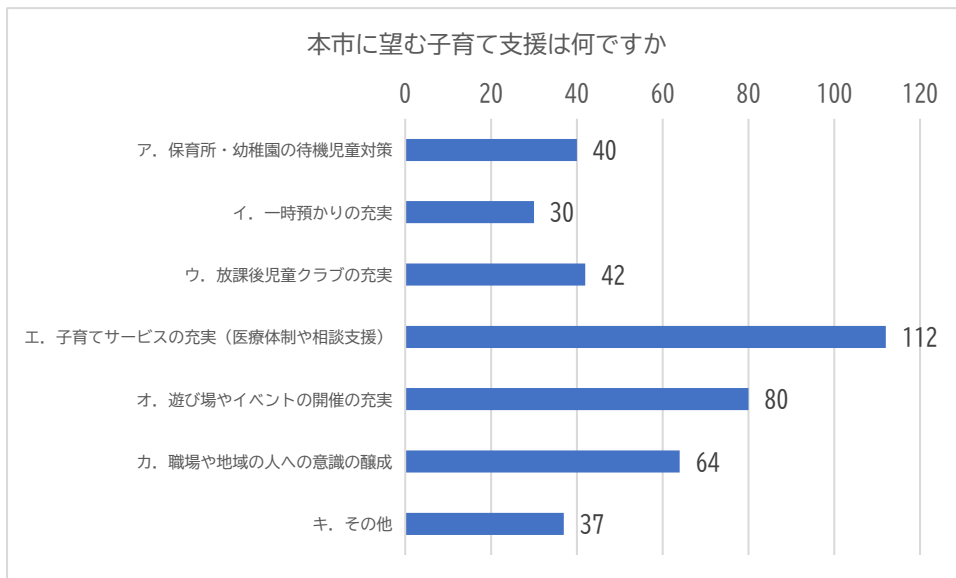
また、その他の回答では、「医療的ケアが必要な子どもや障がいのある子どもの施設の充実や参加できるイベントの開催」、「歩道が広く、段差のない道路」といった意見もあった。

問9

本市に望む子育て支援は何ですか。

ア. 保育所・幼稚園の待機児童対策	40 名	9.9%
イ. 一時預かりの充実	30 名	7.4%
ウ. 放課後児童クラブの充実	42 名	10.4%
エ. 子育てサービスの充実(医療体制や相談支援)	112 名	27.7%
オ. 遊び場やイベントの開催の充実	80 名	19.8%
カ. 職場や地域の人への意識の醸成	64 名	15.8%
キ. その他	37 名	9.1%

<回答者数:405人>



【こども政策課】

本市に望む子育て支援施策については、問8の回答結果と同様に、「子育てサービスの充実」が最も多く、次いで「遊び場とイベント開催の充実」であった。

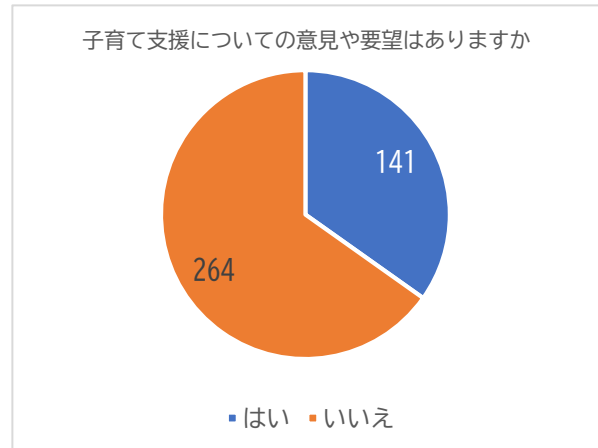
また、「職場や地域の人への意識の醸成」も64人と3番目に多い結果となった。

問10

子育て支援についての意見や要望はありますか。

はい	141 名	34.8%
いいえ	264 名	65.2%

<回答者数:405人>



【意見・要望】

日曜日や祝日の保育や学童の利用を可能にしてほしい。
予約不要の一時預かり保育がほしい。
希望の保育園に入れるようにしてほしい。
公立幼稚園の施設を新しくしてほしい。
平日働く人が参加しやすい相談体制やセミナーを実施してほしい。(男性(パパ)が参加しやすいセミナー)
親子で参加できるイベントを実施してほしい。(洋服やおもちゃのお譲り会)
結婚を希望する男女の出会いのイベントを開催してほしい。
福島市の文化に子どもが触れる機会を作ってほしい。(しゃがむ土偶、信夫山、競馬場など)
子連れでも行きやすい施設や食事処の一覧がほしい。
意見投稿が投稿できるプラットフォームを作ってほしい。
経済的支援をしてほしい。(出産時のお祝い金や児童手当を増額)
家事代行サービスに経済的な支援をしてほしい。
育児をする祖父母にも支援をしてほしい。
困っている家庭に手を差し伸べてくれる市政であってほしい。
他の市町村と比べると「放課後児童クラブ」の利用料が高い。
児童センターを充実してほしい。
ファミサポの料金を下げてほしい。
中心市街地に遊び場を作ってほしい。
室内の遊び場が少ない(小中学生でも遊べる屋内施設、動物と触れ合える施設)
公園に日陰、蛇口がほしい。
公共施設に、もっとおむつ交換台をつけてほしい。(小中学校の多目的トイレにもおむつ交換台をつけて欲しい)
公園周辺の住民から苦情があり使えていない。

子どもが運動する機会を設けてほしい。
障がいを持つ子どもに対する情報が少ない。(保育所・幼稚園・小学校)
医療的ケア児、重症心身障害児を預かることができる施設を増やしてほしい。
障害児が通える療育園を増やしてほしい。(親子で通える場所)
子連れでも選挙に参加しやすい仕組み作り。(オンライン投票)
仕事をしながら子育てしている親が、気晴らし出来る機会がほしい。
塾に行けない子供達の支援をしてほしい。
長期休みの子ども向けの学習支援をしてほしい。
安心して登下校できる道路環境を整えてほしい。
不登校の子どもが相談できる場所をわかりやすくしてほしい。
大学や就職先を作してほしい。
福島市の支援策が見えるようにしてほしい。
子どものえがお条例の周知と行動。
職場や地域の人への意識醸成講座を実施してほしい。
子育て支援は行政だけでなく、住民ひとりひとりが自分できることをやるという意識の高い地域づくり

【こども政策課まとめ】

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。
 調査の結果より、子育てに関する情報の入手方法や利用状況など参考となる点がありました。
 今回お寄せいただきましたデータをもとに、「福島市ポータルサイト」の運用方法をはじめ、子育て支援につきましても、参考とさせていただきます。
 今後も、市民の皆さまからの貴重なご意見を参考にしながら、子育て支援への取組みを推進していきます。ご協力ありがとうございました。

【お問合せ先】

福島市役所(〒960-8601 福島市五老内町3番1号)

《アンケート内容に関して》

福島市こども未来部こども政策課

こども青少年政策係

電話 024-572-3416(直通)

《LINE アンケート制度に関して》

福島市政策調整部広聴広報課

電話024-563-7488(直通)